

春秋座・studio21

組織概要 ORGANIZATION

京都芸術劇場

Kyoto Art Theater
京都芸術劇場(春秋座・studio21)は、2001年に京都芸術大学(旧名称 京都造形芸術大学)内に開設された、わが国の高等教育機関ではじめて実現した大学運営による本格的な劇場です。伝統芸能を新世紀へと受け継ぐことはもとより、新たな創作活動を通じてさらなる表現の可能性を追求する実験と冒険の場でもあります。主に歌舞伎の上演を想定してつくられた大劇場=春秋座と、主に現代演劇・ダンスの上演を想定してつくられた小劇場=studio21という、まったくタイプの異なる二つの空間から成り立っており、伝統芸能から実験的なパフォーマンスまで、現代の多様な舞台芸術(=performing arts)を幅広くカバーできる施設を誇っています。

春秋座 新芸術監督着任のご挨拶

Greeting from new artistic director of Kyoto Art Theater, Shunjuzo
この度、京都芸術劇場春秋座の芸術監督に就任致しました藤間勘十郎でございます。舞踊人生は兎も角、演出家、音楽家として15年がたちままだまだ駆出しではございますが、演劇人として劇場の芸術監督に就任するのは本当に夢のような話であり、自分のできる限りの力をこの劇場に注ぎ込む所存でございます。亡き猿翁さんの掲げた【実験と冒険】の気持ちを胸に、古典芸能にとどまることなく様々な芸能の新たな可能性を発見しつつ、先人たちの残した素晴らしい芸術をこの劇場を通じて、多くの方に発信していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

藤間勘十郎

舞台芸術研究センター

Kyoto Performing Arts Center
舞台芸術研究センターは、舞台芸術の創造過程の総体を研究対象として、乖離しがちであった「創造の現場」と「学術研究」とのより有機的な結びつきを図るべく、2001年4月に発足しました。春秋座・studio21を活用し、学内外の研究員による上演・研究活動の推進、内外の研究者や研究機関あるいは舞台芸術創造拠点との協同など、舞台創造の現場と密接に連携した研究・創造のネットワーク作りを目指しています。



撮影：清水俊洋

研究活動 OPEN LAB

舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点

The Interdisciplinary Research Center for Performing Arts at Kyoto University of the Arts
舞台芸術研究センターが母体となり、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」の認定を受けて2013年度に設置された研究拠点です。アーティストと研究者とが共同でプロジェクトを立ち上げ、「京都芸術劇場を活用した研究」という独自の研究手法を通して、舞台芸術の創造と受容に関するさまざまなテーマに基づく先端的な研究活動を行っています。



研究公募

創造と研究の連携を通じ舞台芸術の新たなヴァージョン(可能性)を構想する、意欲的な研究を広く公募しています。幅広いジャンルにかかわる領域横断的・実験的な試みを公募し、優れた舞台作品の創造をめざして、多種多様な「劇場実験型」「リサーチ支援型」の実践的な研究プロジェクトを支援しています。

2024年度共同研究事業

- [劇場実験型公募]
- 劇場実験型Ⅰ | 遠隔通信技術を用いた《瀬戸内の離島》と《都市》同時上演による地方課題の解決、および地方と都市の共創モデルの開発 | 研究代表者: EMMA(旧・豊永純子)
- 劇場実験型Ⅱ | 映像と劇場—多層的幻想空間の探求—プロジェクション・マッピングとパフォーマンス—ジョルジュ・メリエスを起点として | 研究代表者: 林ケイタ
- 劇場実験型Ⅲ | 現代アートの思考でメディアアートと演劇をマッチングする観客主体型の劇空間の創作 | 研究代表者: 岡田裕子

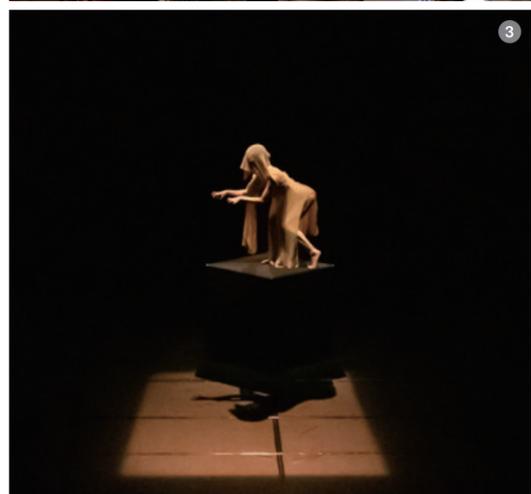
[リサーチ支援型公募]

- リサーチ支援型Ⅰ | 支配的なイデオロギーへの対抗の場としての身体: ジェンダー・セクシャリティの視点からの新たな文法創出 | 研究代表者: 山崎恭子
- リサーチ支援型Ⅱ | デラシネ・リゾーム—在欧日本人アーティストのエクソフォニー感覚について | 研究代表者: 藤原ちから(orangecsong)
- リサーチ支援型Ⅲ | 「聴くことから始まるダンス」—耳を澄まして悲喜交々に巡る、高解像度なドタバタ[High-resolution Slapstick] | 研究代表者: 垣尾優

[その他 研究事業]

- 共同利用・共同研究拠点 連携プロジェクト
主催: 京都芸術大学舞台芸術研究センター 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点、早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点

●2020年度 劇場実験型公募研究(延期実施)「多層化手法による音楽詩劇の創作と上演—アコースモニウムを中心とした音楽と映像、言葉の融合—」撮影: 井上嘉和
●2023年度 テーマ研究Ⅱ「次世代舞台音響「イマージョオーディオ」の可能性について」
●2023年度 劇場実験型公募「蘇るバレエ・リュス—薄井憲二バレエ・コレクションの同時代的/創造的探究—」撮影: 松本豪



京都芸術劇場では2001年の開場以来、瓜生山学園の学生が公演グッズや宣伝美術のデザインから公演運営まで重要な場面で活躍。未来の舞台芸術界を支える人材育成に貢献しています。

人材育成 THEATER×STUDENTS



●フロントスタッフ ●舞台スタッフ ●舞台芸術学科卒業制作公演「まほろば」

会員制度 | MEMBERSHIP

特典付きのお得な会員制度、京都芸術劇場友の会会員募集中! いつでもご入会いただけます。詳細は京都芸術劇場ウェブサイトをご覧ください。

- 1—— チケット優先予約*
 - 2—— チケット割引販売*
 - 3—— 公演情報等のご送付 *公演により異なります
- 年会費 2,000円(税込) | 有効期限 入金日より1年間

チケット | TICKET

WEB オンラインチケットストア | <https://k-pac.org/ticket/> (24時間) | 要会員登録(無料)

窓口 京都芸術大学・人間館1F 京都芸術劇場チケットセンター窓口(平日10時-17時)

電話 京都芸術劇場チケットセンター | 075-791-8240(平日10時-17時 *臨時休業日を除く)

- 車椅子をご利用のお客様・足のご不自由なお客様は、お電話にてお問い合わせの上、お申込みください。劇場2階席へのご移動は階段のみとなっております。
- バリアフリー対応 | 車椅子スペース、ヒアリングループ、多目的トイレ、スロープ、手すり、点字ブロック

アクセス | ACCESS

- バス
●JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「京都河原町」から京都市バス5号系統「岩倉」行きに乗車「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(京都駅から約50分、「三条」・「京都河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路駅バスターミナル)から京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(約15分)
- 電車
●京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え「茶山・京都芸術大学」駅下車 徒歩約10分
- タクシー
●JR「京都」駅から約40分
●地下鉄「今出川」駅から約15分(「京都」-「今出川」は地下鉄で約10分)



TEL 京都芸術劇場チケットセンター: 075-791-8240
京都芸術大学舞台芸術研究センター: 075-791-9207

URL <https://k-pac.org/>

SNS
Facebook: @kyoto.art.theater
Twitter: @KyotoArtTheater
Instagram: @kyoto_art_theater



